

# 本格的な登山シーズン到来！

## 各地で山開き開催

4月下旬から6月上旬にかけて、今年も管内の山々で、毎年恒例の山開きが盛大に開催されました。

4月29日のみどりの日は、津江山系釈迦連峰山開きと、鹿嵐山開を同時開催。前津江村の椿ヶ鼻では、大風車のもと、県内外から集まった千人以上の人々が新緑の季節を祝いました。また、院内町鹿嵐山では、登山にあわせて



くじゅう連山 山開き式典

シャクナゲの記念植栽も実施。参加者はそれぞれの思いを込めて、鍬を入れました。

5月11日は小雨の中、由布岳で山開きを開催。仏式の式典で安全祈願を行ったあと、テープカット。登山口で配られたおそろいの帽子をかぶっ



テープカット

て、一路山頂を目ざしました。また開き。ほんの5分も歩けば登れる山パノラマが開けて、それはもう最

5月25日は悪天候の中、湧出山



かったものの、記念の手拭いが配られ、神事を行ってそして6月1日に、第51回のくじゅう連山の山開きを開催。31日の前夜祭はどしゃ降りでしたが、当日は台風一過、午後に向けて晴れて来るといって、絶好の登山日和でした。今年の山開きは久住山にて開催(昨年は大船山)。山頂では、例年どおりペナントが配られ、神事を行って無事を祈りました。また、強風の中、恒例のヘリコプターによる取材も実施。ヘリが山頂に近づいてきたときには、登山者は、大きく手をふっていました。

皆と一緒に登る山開き。人出は多いですが、それぞれ特徴があり、ハシゴをするのも面白いですよ。毎年同じような日程で開催されますので、是非参加してみてくださいね。



由布岳式典

同日は、上津江村の尾ノ岳でも山ですが、晴れた日には360度の高。ぜひ一度登って？みて下さい。で山開きを挙行。参加者は少ない今年の無事故を祈りました。



## 中学1年生が森林を勉強

日田市立東部中学校1年生の6名が、総合学習の一環として当署を訪問しました。「森林のいいところは何ですか?」「なぜ森林の減少が問題となるのですか?」「木を伐採する目的は何ですか?」「日田の自然破壊は大丈夫ですか?」などなど、1時間半にわたって、森林や林業に関する様々な質問をぶつけてきました。署長は「山学校みどりの教科書」など写真や資料を用いながら、足尾町での緑化事例、黄砂がなぜ飛んでくるのか、(先ほど戦争のあった)イラクで栄えていたメソポタミア文明がなぜ滅んだかなど、色々な事例を交えて丁寧に説明。最後は、森林のこと・木材利用のこと・人と自然との調和の大切さなどを彼らなりに理解し、満足した様子でした。



## 山学校みどりの教科書

九州局では、小学校高学年～中学生までの子供達が森林・林業のことを広く学習するための教材として、「山学校みどりの教科書」を作成しています。とても分かりやすいですよ。

